

## 会員数 (2023年6月2日現在)

正会員 / 819名

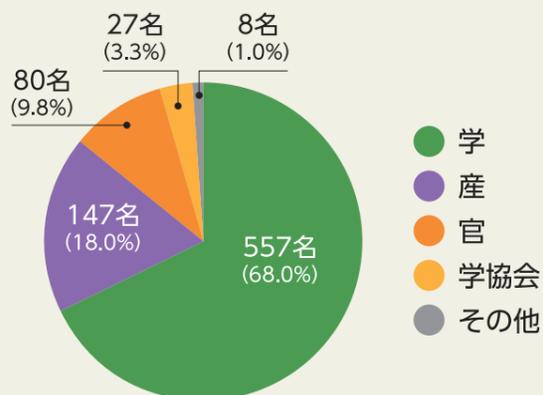
賛助会員 / 49社・団体

客員会員 / 50名 (海外: 15、国内: 35)

専門分野別 / 内訳	会員数	%
機械系	171名	21%
情報・電気電子系	188名	23%
化学・材料系	157名	19%
建設系	101名	12%
資源・エネルギー系	40名	5%
物理系	33名	4%
生命系	44名	5%
経営・政策系	63名	8%
横断領域	22名	3%

広く学界、産業界及び国の機関等において、工学及び科学技術並びにこれらと密接に関連する分野に関して顕著な貢献をなし、広範な識見を有する指導的人材によって構成される本会は、工学及び科学技術全般の進歩及びこれらの社会との関係の維持向上を図り、我が国ひいては世界の発展に資する

『日本工学アカデミーの使命』より抜粋



## 賛助会員 (入会順 / 2023年7月1日現在)

日本電気株式会社、住友電気工業株式会社、富士通株式会社、トヨタ自動車株式会社、大成建設株式会社、鹿島建設株式会社、ソニーグループ株式会社、三菱重工業株式会社、株式会社日立製作所、三菱電機株式会社、日本電信電話株式会社、株式会社東芝、三菱マテリアル株式会社、株式会社NTTデータグループ、株式会社NTTドコモ、日産自動車株式会社、一般財団法人新技術振興渡辺記念会、東京電力ホールディングス株式会社、東レ株式会社、国立研究開発法人科学技術振興機構、株式会社三菱総合研究所、株式会社IHI、株式会社島津製作所、株式会社建設技術研究所、ファナック株式会社、日本電子株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、株式会社日立ハイテク、株式会社カネカ、株式会社堀場製作所、国立研究開発法人海洋研究開発機構、富士フイルム株式会社、東京エレクトロン株式会社、三井化学株式会社、横河電機株式会社、株式会社クボタ、東海旅客鉄道株式会社、武蔵エンジニアリング株式会社、東北電力株式会社、三菱ケミカルグループ株式会社、DMG森精機株式会社、株式会社レゾナック・ホールディングス、ダイキン工業株式会社、旭化成株式会社、東海カーボン株式会社、AGC株式会社、株式会社大林組、株式会社野村総合研究所、大日本印刷株式会社

### ■事務局連絡先・アクセス

#### 公益社団法人日本工学アカデミー事務局

〒101-0064

東京都千代田区神田猿樂町二丁目7番3号

HKパークビルⅢ 2F

Tel: 03-6811-0586 Fax: 03-6811-0587

E-mail: desk@ej.or.jp



<https://www.eaj.or.jp/>

〈水道橋駅徒歩5分、神保町駅徒歩6分〉



公益社団法人

# 日本工学アカデミー

THE ENGINEERING ACADEMY OF JAPAN



# EAJ

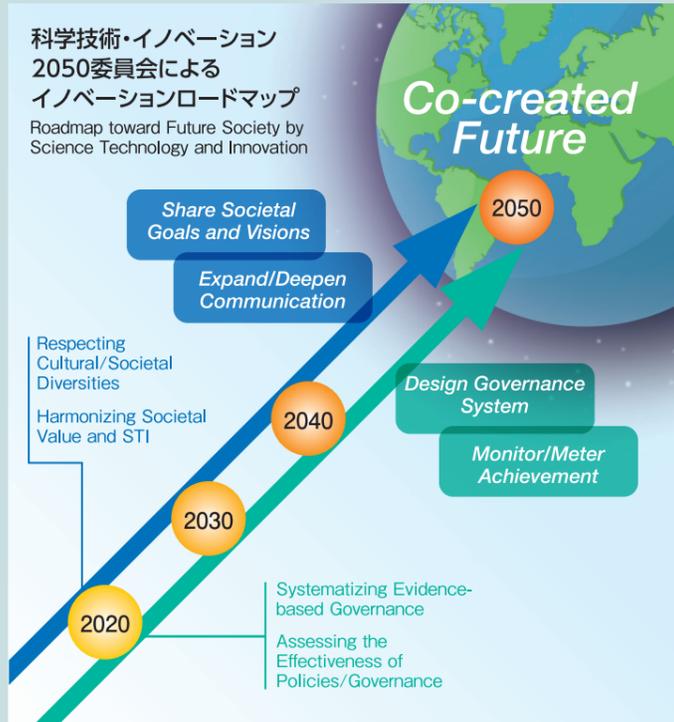
<https://www.eaj.or.jp/>

日本工学アカデミー<sup>\*1</sup>は、産学官の多様な指導的有識者の発意により「産官学を問わず、工学研究・技術開発・産業振興他に貢献すること」を目的として、1987年に設立された公益社団法人です。会員の会費で運営資金をまかなう独立・中立運営の団体で、1990年には、現在31ヵ国で構成される国際工学アカデミー連合(CAETS<sup>\*2</sup>)に、10番目のアカデミーとして、日本を代表して加盟しました。「人類の安寧とより良き生存のために、未来社会を工学する」という理念に基づき、個人の立場で参加する各種委員会や支部活動を通じて、学界や産業界だけでなく、政府や議会、そして一般社会も含めた国内外への提言活動や意見交換を積極的に行っています。日本工学アカデミーでは、目先の視点に捕らわれることなく、会員の高い見識と俯瞰的な視座で未来を予見し、真に持続的な、そしてより良い社会の構築に向けてリードしていきます。

※1: アカデミーとは、学問や芸術に関する指導的な人材により構成された組織です。アカデミー会員は、一定の推薦制度にもとづき推挙され、その専門性と広範な識見を通して、広く社会のために活動することが求められます。この考え方は米国、英国、ドイツ、フランス、スウェーデン、中国など各国のアカデミーで広く共有されています。

※2: International Council of Academies of Engineering and Technological Sciences

# 日本工学アカデミーの基本理念・使命・活動方針



## 【基本理念】

人類の安寧とより良き生存に向けて、「未来社会を工学する (Engineer the Future)」

## 【使命】

人類の安寧とより良き生存に向けて、工学及び科学技術全般の進歩及びこれらと人間及び社会との関係の維持向上を図り、我が国ひいては世界の持続的発展に資する

## 【活動方針(定款第4条)】

- (1) 創造的革新技術の萌芽の模索、評価等による、先見性・創造性のある基礎研究の推進のための調査研究、提言等に関する事業
- (2) 社会、産業界、学界が工学及び科学技術に関する分野で直面している具体的問題の把握とその解決に関する事業
- (3) 工学及び科学技術に関連する問題についての普及啓発活動に関する事業
- (4) 工学及び科学技術の分野における国際交流(日本国内・海外)の推進に関する事業
- (5) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

## 設立と法人化

1987年4月16日 設立  
1998年1月5日 社団法人化  
2013年7月1日 公益社団法人に移行

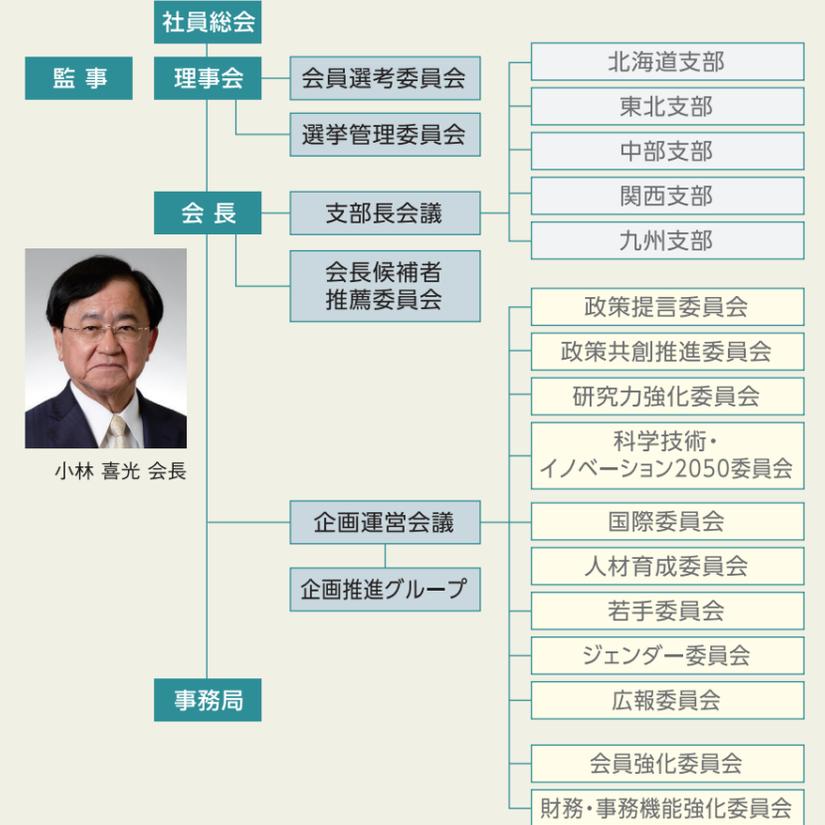
## 歴代会長

1987年度-1988年度 小林 宏治  
1989年度-1993年度 向坊 隆  
1994年度-1997年度 岡村 總吾  
1998年度-2001年度 永野 健  
2002年度-2005年度 西澤 潤一  
2006年度-2009年度 中原 恒雄  
2010年度-2015年度 小宮山 宏  
2016年度-2019年度 阿部 博之  
2020年度- 小林 喜光



カール16世グスタフIVA名誉会長(スウェーデン国王)よりスウェーデン王立理工学アカデミーからの記念品を受け取る小林宏治EAJ会長

2023年6月2日現在



## 最近の活動例

- **政策提言プロジェクト(政策提言委員会)**
  - ・人と機械の共生社会のデザイン
  - ・海洋研究の戦略的推進
  - ・新型コロナウイルス後の科学技術イノベーションのあり方
  - ・未来の製造業 デジタル革命時代の日本のモノづくり
  - ・インクルーシブなSTEM研究環境の構築
  - ・STI for SDGs におけるアフリカとの連携
  - ・デジタル変革を可能にする先端半導体研究開発の在り方
- **科学技術・イノベーション2050委員会**
  - ・「持続可能社会に向けた科学技術・イノベーションロードマップ」発表
- **国際連携**
  - ・工学アカデミー会長会議をSTSフォーラム年次総会枠内で主催
- **ジェンダー委員会**
  - ・ジェンダーシンポジウム～デジタル社会における「新しい学び方」～
- **政策共創推進委員会**
  - ・「政治家と科学者の対話の会」
- **若手委員会**
  - ・「世界の最先端を拓く研究者が見ている本当の景色～量子技術・ブロックチェーンを解きほぐす」
- **支部活動(北海道、東北、中部、関西、九州)**
  - ・各地区の特質に根差した発展に貢献すべく、産学官民連携で活動中



萩生田文部科学大臣への緊急提言手交と意見交換



ジェンダーシンポジウム～デジタル社会における「新しい学び方」



若手委員会によるSTEAMカンファレンスの様子



スウェーデン王立理工学アカデミーでの国際委員会会合



高校生・大学生も交えたEAJ国際委員会フォーラム



ジェンダー委員会大学院生インタビューーによる山崎直子さんとの意見交換

- 会長 小林 喜光  
副会長(会長代理) 菱田 公一  
副会長 安西 祐一郎、川合 眞紀、岸本 喜久雄  
専務理事 城石 芳博  
常務理事 森本 浩一、睦 哲也(常勤)  
理事 天野 玲子、石川 憲一、江村 克己、大村 直人、沖 大幹、笠原 博徳、神本 正行、川合 知二、楠見 晴重、倉持 隆雄、小林 信一、小山 珠美、関谷 毅、瀬戸口 剛、平 朝彦、塚原 健一、長坂 徹也、中山 智弘、行木 陽子、平尾 明子、増田 隆夫、村上 雅人、八重樫 武久、安浦 寛人、安永 裕幸(以上 理事33名)  
監事 辻 篤子、林 秀樹(以上 監事2名)  
最高顧問 吉川 弘之、小宮山 宏  
名誉会長 阿部 博之  
顧問 青山 博之、池田 駿介、梶山 千里、神山 新一、嘉門 雅史、久間 和生、國武 豊喜、小泉 英明、谷口 功、種市 健、中西 友子、中村 道治、永野 博、堀 幸夫、松本 洋一郎、松尾 友矩、御園生 誠、三井 恒夫、宮城 光信  
顧問・荣誉フェロー 原山 優子(以上 顧問20名)



政策共創推進委員会「政治家と科学者の対話の会」

	委員会/支部	委員長/支部長
委員会	会員選考委員会	岸本 喜久雄
	会員強化委員会	石原 直
	財務・事務機能強化委員会	睦 哲也
	会長候補者推薦委員会	阿部 博之
	選挙管理委員会	中西 友子
	企画運営会議	小林 喜光
	企画推進グループ	中山 智弘
	政策提言委員会	中島 義和
	政策共創推進委員会	永野 博
	研究力強化委員会	杉山 正和
	科学技術・イノベーション2050委員会	沖 大幹
	国際委員会	原山 優子
	CAETS実行委員会	森本浩一
	EA-RTM実行委員会	三島 望
支部	欧州交流委員会	永野 博
	JAFEO実行委員会	村上 秀之
	ERLEP実行委員会	大橋 俊朗
	人材育成委員会	橋本 正洋
	若手委員会	関谷 毅
	ジェンダー委員会	行木 陽子
	広報委員会	安永 裕幸
	北海道支部	増田 隆夫
	東北支部	神本 正行
	中部支部	林 良嗣
関西支部	田中 敏宏	
九州支部	山田 淳	